

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
1-③	生涯学習や芸術・文化活動の環境を充実する		市民部、社会教育部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
各種講座・講習会への参加者数（年間）	人	48,314	51,614	48,818			49,000
博物館・美術館の特別展の観覧者数（年間）	人	133,008	141,727	148,097			138,900
関連事業							
○囲碁文化振興事業○無形文化財保存事業○多様な学習推進事業○地域の人材発掘・活用事業○崇善地区地域交流・市民活動拠点づくり推進事業○博物館特別展事業○博物館教育普及活動推進事業○魅力ある美術展覧会事業○美術教育の普及・体験事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費（千円）	104,294						
執行率（％）	95.06						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●第 21 回湘南ひらつか囲碁まつり 1000 面打ち大会や各種囲碁教室の開催、囲碁サミット 2016in 熊野に参加するなど、「囲碁のまちひらつか」として囲碁文化の振興を図りました。 ●民俗芸能継承団体の活動や後継者育成等を支援することにより、無形文化財の保存・伝承を推進するとともに、民俗芸能まつりの開催により無形文化財への理解を深めました。 ●中央公民館での市民大学講座や、地区公民館での高齢者学級や家庭教育学級等の開催により、文化教養や現代的な課題等の多様な学習機会を提供しました。 ●公民館だよりや公民館運営委員会の所属団体の P R により、地域人材の積極的な講師登録と活用を図りました。 ●崇善公民館の建て替えについて、地元説明会を重ね、施設に必要な機能を盛り込んだレイアウトを決定しました。 ●博物館では、平塚のロケット開発展など平塚市ならではの企画により、観覧者数が目標を上回りました。また、申込みが不要な行事の比率を高め、利用者層の拡大を図りました。 ●美術館では、開館 25 周年記念の企画展や市民が参加できる取組の実施により、幅広い年代層の観覧や参加がありました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●囲碁文化の担い手となる人材の確保が必要です。 ●文楽人形芝居における継承者の高齢化への対策や民俗芸能への理解と興味の喚起が必要です。 ●公民館の運営に当たり、年齢層や地域課題に合致した講座を企画立案する必要があります。 ●地区公民館における指導者の人材登録を増やすとともに、地域での活動の場を創出していく必要があります。 ●崇善公民館の建て替えを計画通りに進めるとともに、複合施設として施設の利用方法を協議する必要があります。 ●博物館では、基礎的な調査・収集活動を進めるとともに、より効果的な行事の開催に取り組む必要があります。 ●公立美術館として、美術に関心を持つ人や美術館へのリピーターを増やすことが必要です。	●囲碁教室等の開催を通じ、囲碁に触れ親しむことで普及を図るとともに、指導やサポート等の機会を提供する等の取組により、人材育成を図ります。 ●無形文化財の後継者育成と保存・継承を推進するため、民俗芸能まつりの実施や各団体への活動支援、PR活動の強化を図ります。 ●地域との協働による地域課題の解決に向け、公民館運営委員会の意見を伺いながら、社会情勢や市民ニーズを踏まえた講座を企画します。 ●身近な地域人材の発掘と活用を進めるとともに、地域の諸団体等との連携による「知恵の輪」づくりを進めます。 ●関係各所と協議のうえ、施設の利用方法を定めるとともに、平成31年度の供用開始を目指します。 ●地域の歴史を新たな側面から照らすため、教育と調査収集を一体的に進めるとともに、行事回数や参加者数の適正化に向けて行事内容を精査します。 ●幅広い年齢層を対象とした展覧会や専門性の高いワークショップを開催するとともに、文化ゾーンにある3館が連携した取組を進めます。